



平成24年 7月 3日
四国地方整備局

入札監視委員会の審議概要について

四国地方整備局入札監視委員会第一部会は、本年度第1回定例会議を下記のとおり開催しました。

審議内容は、四国地方整備局(港湾空港関係は除く)が平成24年1月から平成24年3月までに発注した工事、建設コンサルタント業務等及び役務・物品の中から委員が無作為に抽出した6件の入札・契約手続に関する事項について審議を行いました。

その審議概要は別添のとおりです。

記

開催日 平成24年 6月19日(火)
会場 高松サンポート合同庁舎 13階会議室

問い合わせ先

高松市サンポート3番33号 電話 087-851-8061(代表)
四国地方整備局入札監視委員会事務局
主任監査官 三枝茂樹(内線2114)
契約管理官 今城敏雅(内線2222)
技術開発調整官 木村正己(内線3120)

別添

四国地方整備局 入札監視委員会第一部会第1回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成24年6月19日(火) 高松サンポート合同庁舎 13階会議室					
委員(部会委員5名)	部会長 近藤 光男(徳島大学大学院教授) 委員 大西 均(公認会計士) [欠席] 委員 島 弘(高知工科大学大学院教授) [欠席] 委員 白井 一郎(弁護士) 委員 三野 靖(香川大学教授)					敬称略 委員は50音別
審議対象期間	平成24年1月1日～平成24年3月31日契約分					
審議案件	総件数 6件(工事3件、建設コンサルタント業務等2件、役務及び物品1件)					
	入札方式	件名	契約の相手方	契約金額(千円)	入札者数	落札率(%)
工 事	一般競争(政府調達協定適用対象工事)	平成23-27年度 鹿野川ダムトンネル洪水吐新設工事	清水・間特定建設工事(共)	8,526,000	4	88.99
	一般競争(政府調達協定適用対象工事以外)	平成23-24年度 香川管内道路照明設備工事	日本電設工業(株)	110,250	1	96.44
	工事希望型以外の指名競争	平成23-24年度 大和橋上部工事	(株)横河ブリッジ	516,600	10	91.60
建設コンサルタント業務等	簡易公募型競争	平成23-24年度 南国安芸道路(5-6工区)道路設計業務	(株)第一コンサルタンツ	25,200	5	79.13
	通常指名競争	平成23年度 中筋川ダム管内テレメータ設備外設計業務	エースコンサルタンツ(株)	6,562	9	68.83
役 務 及び物品	一般競争	池田局大型表示装置製造	三菱電機(株)	13,125	1	95.86
○部会開催にあたり第一部会長に 近藤 光男委員長を選任した。						
報告事項	①再度入札における一位不動状況・低入札の発生状況 ②指名停止状況					
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
備 考						

別紙 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1. 抽出案件の審議概要

(1)一般競争入札(政府調達協定対象工事)	
意見・質問	回答
<p>平成23—27年度 鹿野川ダムトンネル洪水吐新設工事</p> <p>技術提案が5提案を超えた場合、5提案に満たない場合、技術提案書が2枚になった場合の取扱いは。</p> <p>技術提案書の記載方法に関する注意書きにおいて、「技術提案が5提案を超えた場合は、超えた提案については評価の対象としない」についての記述は誤解を招き、削除したらどうか。</p> <p>競争参加可能な業者は何社程度と想定していたのか。</p> <p>落札率が各社近接している。そのような工事なのか。</p>	<p>技術提案には優先順位が付いており、優先順位にしたがって5提案までを評価する。5提案に満たない場合は、評価を減じている。技術提案書が2枚になっている場合は、加算点は0となる。</p> <p>他の事例等を参考により良い表現にしたい。</p> <p>同種工事の実績を有する業者は46社を確認していた。</p> <p>一般土木工事においても競争が激しく、落札率は低くなるとともに、各社の積算の精度が高くなっていくからと思われる。</p>
(2)一般競争入札(政府調達協定対象工事以外)	
意見・質問	回答
<p>平成23—24年度 香川管内道路照明設備工事</p> <p>2者しか応募が無かった理由は、何と考えているのか。また、1者辞退しているが、理由は何と考えているのか。</p> <p>参加要件を満たす者は何社と考えていたのか。</p>	<p>本工事は、平成23年度末の発注であるので、配置できる技術者がいない者が多かったのではないかと。辞退の理由については確認していない。ただ、年度末であり、受注している工事が、たまたま工期延期となり、配置予定の技術者が、配置できなかったために辞退したと考えることもできる。</p> <p>参加要件を満たす者は少なくとも23者は確認していた。</p>

2カ年に工事がまたがっているが何故か。	平成23年度補正予算による発注であり、時期的に年度末発注となり、翌年度にまたがる工事として発注を行った。
---------------------	--

(3) 工事希望型以外の指名競争入札

意見・質問	回答
<p>平成23-24年度 大和橋上部工事</p> <p>総価契約単価合意方式とは。</p> <p>また、どういう工事に適応するのか。</p> <p>本工事は2段階選抜方式の試行工事とあるが、本工事が最初なのか。</p> <p>2段階選抜方式の評価はどのように考えているのか。</p> <p>2段階選抜における評価が技術者評価と企業評価であることから、実績のある者しか参加できないのではないか。</p> <p>2段階選抜方式が良い制度となるようにして頂きたい。</p>	<p>入札は総価にて行っているが、契約後、個別の単価を発注者及び受注者にて協議を行い合意を行う方式である。変更契約等における協議の円滑化に寄与している。</p> <p>現在は、全ての工事は総価契約単価合意方式となっている。</p> <p>全国的に平成22年度から試行が始まっている。平成22年度は全国で7件、平成23年度は全国で21件が試行されており、その内の1件である。</p> <p>一次選抜で10者を選抜、非選抜者は早めに別案件に技術者を配置可能となる。また、発注者にとっては、非選抜者の技術提案の審査等について、事務量が軽減できたと考える。</p> <p>今後は、トンネル工事等に工種を拡大したいと考えている。</p> <p>試行をしながら、相手方がどうなるのか、極端にかたよらないのかが、今後の課題となる。</p> <p>現時点では、2段階選抜の試行を続けて行きたい。</p>

(4) 簡易公募型競争入札(建設コンサルタント業務等)

意見・質問	回答
<p>平成23-24年度 南国安芸道路(5-6工区)道路設計業務</p> <p>入札参加者を選定する際に評価を行った項目については、再度評価する必要がないのではないか。</p>	<p>成果品の品質向上等もあり、予定技術者については、技術提案とあわせて再度評価を行っている。</p>

(5) 通常指名競争入札(建設コンサルタント業務等)	
意見・質問	回答
<p>平成23年度 中筋川ダム管内テレメータ設備外設計業務</p> <p>手持業務状況の算出方法は。</p> <p>手持業務状況が「A」なのは、問題が無いということか。</p> <p>入札価格にバラツキがあるが何故か。</p> <p>総合評価Aの数が4.5以上の10社が選定されているが、4.5以上とのきまりがあるのか。</p> <p>同位順位の場合はどうするのか。</p>	<p>当該年度の契約額÷過去4年間の平均契約額である。</p> <p>そのとおりである。</p> <p>標準歩掛かりがないものは、各社に見積もりを依頼し、参考としているが、この見積もりにおいてバラツキがあったためと思われる。</p> <p>指名競争契約であり、総合評価Aの数が上位より10社を選定している。</p> <p>判定順序が決まっており、それに基づき選定している。</p>

(6) 一般競争入札(役務・物品)	
意見・質問	回答
<p>池田局大型表示装置製造</p> <p>四国電力ダムの状況について大型表示装置に表示させるように改修しているが、四国電力ダムのデータ受信について協定等はあるのか。</p>	<p>詳細について調査し、別途、報告したい。</p>

3. 再度入札における一位不動状況(「価格が最低である業者が、当初入札時と同一となる案件」の発生状況)、低入札の発生状況について

意見・質問	回答
特になし	

4. 指名停止状況について

意見・質問	回答
特になし	

5. 全体について及びまとめ

意見・質問	回答
特になし	